

令和8年5月30日



令和8年度 6月号

横浜市立新石川小学校

# 学校だより

【学校教育目標】

豊かなかわりを通して  
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP へはこちらの QR コードから→

TEL 911-6281 FAX 912-4892



## 子どもが主役 「子どもの声」を生かした学校づくり

校長 岡崎 恵子

新石川小学校のピロティでツバメが子育てをする季節となりました。親ツバメが巣に戻ってくると雛が口を大きく開ける様子を、優しく見守る子どもたちの姿に心があたたまります。ツバメの巣は古から幸運をよぶ縁起物とされてきました。人が多く出入りし、外敵が少ない安全な家に巣をつくるため「栄えている証」として歓迎されてきたそうです。



4月の学校だよりで紹介しました、令和8年度の主な取組「子どもの声を生かした学校づくり」を進める一つとして、4月下旬から校長室で6年生とのランチ意見交換会を行っています。主なテーマは「新石川小学校をよりよくするためにやりたいこと・創立40周年に向けてやりたいこと」です。「子どもの声」の一部を紹介します。

- ◆休み時間が短いです。思い切り遊んだり、他の学年と交流したり、委員会活動をしたりするために「ロング昼休み」をつくりたいです。
- ◆暑さが厳しくなると外で遊べなくなることが多いので、休み時間も体育館を使えるようにしてほしいです。学年順とかペア学年順などにしたら、安全に遊べると思います。
- ◆1年生と6年生のペア活動は充実しているけれど、他の学年とも関わりをつくりたいです。1年生から6年生までの縦割りグループをつくって、集会や運動会などの活動をしたいです。
- ◆地域の方々・保護者の方々・先生方も参加できる運動会の種目をつくりたいです。去年、運動会で応援団パフォーマンスの時間ができたから、さらに応援団を充実させたいです。
- ◆子ども会議で一部の方は地域や保護者の方々と意見交換をしているけれど、もっとわたしたちが思っていることや考えていることを大人に話す機会があったらうれしいです。
- ◆40周年で記念となる集会をしたいです。植樹・航空写真・記念誌づくりもしたいです。これまでの記念誌を読んだら、お父さんの言葉があったので自分もつくりたいと思いました。

子どもならではの視点に感心するとともに、学ばせてもらいました。学校の主役は子ども一人ひとりです。何かに「参加」するだけでなく「参画」し、創り出すことを楽しんでほしいと思います。そのために教職員一同、一層、子どもが安心して自分の思いを表せる関わりや環境をつくっていきます。